

やすらぎの村便り

「デイサービスでの熱中症対策」

皆さん、こんにちは！すっかり暑くなってきました。この時期、やはり心配なのが熱中症です。今回はデイサービスでの熱中症対策についてお話させていただきます。

う少し早い時期から熱中症になる方が多くなっていると言われてます。デイサービスで気を付けていることは、まず水分補給です。

熱中症になりやすい時期は、梅雨前後から9月ごろとされていますが、近年はゴールデンウィークあたりから急激に気温が上がることで多く、体が暑さに慣れていないこともあり、も

高齢者の方は水分補給に

し、あまり積極的ではない部分

があります。水分不足に気が付かなかつたり、トイレが近くないので控える、という方もお

られます。デイサービスでは来

所後、入浴後、リハビリ後、昼食後、おやつ後、などのタイミング

で水分補給を勧めています。ご自分からはなかなか摂取されない方もいらっしゃるので、スタッ

フが声かけして出来るだけ飲んでいただくようにしています。

また各フロアの室温にも注意

が必要です。年配の方で冷房が苦手な方もいらっしゃると思いますので、直接、風が当たらないように風よけカバーを付けたり、羽織るものを用意したりしています。

最近ではコロナ対策で、こまめに換気をしているので、エアコン＋自然の風で適温を保てるように気をつけています。毎回のバイタルチェック（血圧や体温、脈拍の測定）や食事量の確認、体重測定も大切で、この確認で普段との違いがわかるので、看護師が入念にチェックします。

夏場は食事量が落ちることがあり、特に一人暮らしの方の様子観察は重要となってきます。いつもと様子が違うことを、介護職としては早く気づくことが大切です。

やすらぎの村

デイサービスセンター 富田林

